

新元号の決定について

国書である万葉集から初めて引用され、日本のよき文化と自然を尊びながら、平和で国民一人ひとりの花を立派に咲かせる日本をつくっていくという理想がこめられた、心に響く元号が選ばれたと感じている。来月に迎える平成から令和への改元によって、国民に寄り添い、国の安寧と人々の幸せを祈ってこられた今上天皇への感謝の思いと、新天皇への深い敬愛、共感がひとつにつながり、時代を超えて継承されることを念願している。

皇室ゆかりの京都として、新時代を象徴する元号の決定を心よりお祝い申し上げるとともに、「令和」と同時期に始動した京都経済センターを基盤に、未来に向けた「文化×産業の創造」や知恵産業のまちづくり、起業家の発掘、産業人材の育成を加速させていきたい。

以上

2019年4月1日

京都商工会議所

会頭 立石義雄